

I. スケジュール

■ 5月14日(日)

5:30	TO 集合（山下公園内 KnTU テント、ドレスコードチェック）
7:00	交通規制開始
7:15-11:30	スイムスタート
7:35-11:55	スイムフィニッシュ バイクスタート
8:35-12:55	バイクフィニッシュ ランスタート
9:15	（トップフィニッシュ）
14:00 頃	交通規制解除
14:10	ラン最終フィニッシュ

* 13日のポジション別ミーティングは行いません。

II. 担当 TO・業務実施

1. 担当 TO

名前	ポジション	担当・役割	備考
高柳 佳恵	C	無線	
吉水 英雄		計測	
大林（北島）礼子		計測	

高柳連絡先： 090-1696-0102（ショートメール OK です）

2. 業務実施

1) はじめに

タイムペナルティは、失格にはならない違反に与える適切なペナルティである。World Triathlon Competition Rule/ JTU 競技規則において、エイジグループはバイクのペナルティをバイクペナルティボックスで課すルールである。しかし本大会では、TD の判断により下記位置でペナルティを科す。

- ・ バイクペナルティ：フィニッシュ手前ランコースペナルティボックス
- ・ ランペナルティ： オンサイト（その場）
- ・ バイクは周回によっては 10m に一人の密度になる
- ・ 上記状態でオートバイ乗車 TO がドラフティング中のバイクにペナルティを与えることは非常に危険（エイジでは選手の安全確保が最優先）

→ 余程悪質なドラフティングでない限りタイムペナルティは取らない

2) 設営



ペナルティボードの裏に、白テープでペナルティを受けるエリア（3m x 3m）を作り、選手の計測はそのエリア内で実施する。

3) オペレーション

- ①HR より無線でペナルティを受ける選手のレースナンバーとカードの種類を受信
- ②ペナルティボードに選手のレースナンバーを表示（バイクペナルティは自己申告）
- ③ペナルティボックスに入った選手から、ペナルティの数と提示されたカードの色素申告してもらう
- ④ペナルティの計測を開始
 ブルーカード（ドラフティング）：スタンダード 2 分、スプリント/パラ 1 分
 イエローカード（その他）：スタンダード 15 秒、スプリント/パラ 10 秒
- ⑤計測終了したら"GO"と言い、選手はレースを再開
- ⑥無線でペナルティ終了を HR に報告

4) 備品

品名	個数
ストップウォッチ	2
白テープ	1
ペナルティボード	1
マグネットナンバーステッカー	1 式

チーフは前日に備品・サイネージを確認すること。

5) サイネージ



200m 手前および PB 前に上記サインを提示。高さ 2m を推奨。

6) セカンドジョブ

例年、バイクペナルティは0であることが多い。無線連絡を待つ間はセカンドジョブとして、隣接するランコース整備やエイドステーションを手伝う。

ランコース整備は、競技の時間帯により下記の通りに切り替えるため、ラン担当、フィニッシュ担当との連携が必要。

- ・スイムアップ&ラン往復→3レーン
- ・スイムアップ&ラン往復&フィニッシュ→4レーン
- ・ラン往復&フィニッシュ→3レーン

Ⅲ. コース図

1. エイジパラコース



2. エイジコース



以上